

広島県行政デジタル化推進アクションプランの令和6年度進捗状況について

1 要旨・目的

令和6年2月に改定し、取組を実施している「広島県行政デジタル化推進アクションプラン」の令和6年度の進捗状況を報告する。

2 概要

(1) 計画期間

令和6（2024）年度から令和7（2025）年度末までの2年間

(2) 取組の方向

県庁DXの最終ゴールである「フレンドリー県庁」の実現に向け、これまで取り組んできたデジタル化の取組を加速し、デジタルライゼーションやDXにより、県民及び職員がデジタル化の恩恵を「実感」できるよう取組を加速する。

(3) 根拠法令

官民データ活用推進基本法（平成28（2016）年法律第103号）第9条

3 取組内容

課題の生じている局面ごとにプロジェクトを実施し、各プロジェクトにおいては、新技術へのチャレンジも掛け合わせ、既存施策の更なる進化・深化と新たな施策の展開により、「実感」へとつなげていく。

(1) プロジェクト1：誰もがいつでもどこでも楽々手続 便利さ「実感」！

県民等が県に対して手続等を行う局面における県民等の負担軽減、利便性向上に向け、取組を実施している。

【進捗状況等】

- ・ 主要107手続を中心に「申請のための申請」等を行っている手続を洗い出し、建設工事等入札参加資格登録申請手続において、県内部での連携により、納税証明書の提出を不要とするなど、手続の一部において、申請者の負担軽減が図られている。
- ・ 電子申請システムの入力しやすさの追求、外部サイトとの連携や、AIチャットボットの精度向上など、手続がより簡単で使いやすくするための継続的な改善により、申請システム利用者の満足度も向上している。

| 実感ポイント | 指標 | 水準 | | 令和6年度進捗状況 |
|-----------------|---------------------|--------|--------|--------------------------------|
| | | プラン策定時 | 令和7年度末 | |
| 手続添付書類等の簡素化 | 申請のための申請の廃止等、簡素化した数 | 0手続 | 15手続 | 3手続(納税証明書省略等)改善済み。12手続着手済み。 |
| データでの許認可通知等の受領 | 電子署名の実装 | — | 実装、運用 | 実装に向けて開発段階 |
| オンライン申請の使いやすさ向上 | 電子申請システム利用者の満足度向上 | 満足率59% | 満足率70% | R6調査結果:満足度80% |
| デジタル活用への不安解消 | スマートフォン講習会等の開催(市町) | 全市町開催 | 全市町開催 | 全市町開催 |
| キャッシュレス決済導入の拡大 | キャッシュレス決済可能手続数 | 25手続 | 64手続 | 3手続(教職員免許状授与申請等)導入済み。36手続着手済み。 |

(2) プロジェクト2：スムーズ処理で効率化「実感」！

県が実行・発信する局面における効率化、サービス向上に向け、取組を実施している。

【進捗状況等】

- ・ アナログ規制の見直しについて、方針を策定した上で、対面などの対応を定めているものについて、条例、規則等の改正等を実施している。
- ・ 県保有データについて、県民等にとって使いやすい形で積極的に公開したことにより、ダウンロード数が大きく伸びるなど活用が図られている。

| 実感ポイント | 指標 | 水準 | | 令和6年度進捗状況 |
|------------------|-------------------------|-------------------------|-------------------------|---|
| | | プラン策定時 | 令和7年度末 | |
| 手続処理の効率化、時間短縮 | デジタル一気通貫手続数 | — | 15 手続 | 2手続(RPA活用によるシステムへのデータ取込)改善済み。12 手続着手済み。 |
| | RPAを活用した業務改善による処理短縮時間 | — | 各年 1,500 時間 | 14 業務に RPA を導入し、処理時間を約 1,300 時間短縮 |
| デジタル活用による現地対応等改善 | アナログ規制の見直し(方針策定、見直し) | — | 策定 随時改定 | 方針策定の上、見直し作業により改正等を実施 |
| 活用しやすいデータの充実 | データサイト活用状況 ダウンロード数/月 | 27,000 回 (1,100 データ) | 33,000 回 (1,300 データ) | 164,000 回(1,148 データ) |
| データ利活用のスキル充実 | データ分析のための研修の受講状況 | — | 各年 100 人 | 87 人 |

(3) プロジェクト3：デジタル環境のアップデートで デジタル効果「実感」！

デジタル効果の発揮に向け、基盤となる県庁におけるデジタル環境の改善のため、取組を実施している。

【進捗状況等】

- ・ 職員用端末について、ワークスタイルや業務内容に即した機種調達や、通信環境の改善を行うとともに、ペーパーレスの更なる徹底により、業務自体のデジタルシフトを推進している。
- ・ 情報システム人材育成プランに基づき、デジタルスキルの評価の可視化を行うとともに、県・市町共同で人材を採用、育成、活用する「DXShipひろしま」の枠組みにより、情報システム人材を 15 市町へ配属した。

| 実感ポイント | 指標 | 水準 | | 令和6年度進捗状況 |
|-------------------|-----------------------------|--------------------|---------------|-----------------------------|
| | | プラン策定時 | 令和7年度末 | |
| デジタル環境の改善 | 業務で利用するデバイス機器の満足度 | 47.5% | 左記数値からの上昇 | 機能が向上した職員用端末の調達を完了 |
| 業務のデジタルシフトの拡大 | 紙の購入状況 | R2年度 約 3,630 万枚 | 約 1,815 万枚 | 1,612 万枚 |
| デジタル技術を活用できる人材の充実 | 職員の研修受講状況 | 累計 2,000 人 | 累計 4,000 人 | 一般研修等を通じ 4,985 人 |
| | 情報システム人材の 応用情報技術者試験等の合格者 | 40% | 75%以上 | 50% |
| | 上記人材の育成の 仕組み構築状況 | 市町と一体 で整理中 | DXShip により確立 | 15 市町へ配属。引き続きシェア会議を通じて調整 |
| システムの全体最適化の進展 | 具体的方針の策定 | — | 策定の上、活用 | システム連携の在り方、セキュリティ面の具体的方針を策定 |
| | 方針によりデジタル部門 で関与したシステム数 | — | 5件 | 基幹系システムを中心に構築段階から支援を実施 |
| 行政のシステムの安定稼働 | インシデント発生状況 | 0件 | 0件 | 0件(庁内システム)※ |
| | セキュリティ検証、運用評価 | — | 計画的に実施 | セキュリティ検証や標的型攻撃メール対処訓練を実施 |

※R 6 年度は外部 Web サイトで 2 件

4 その他（関連情報等）

- 広島県行政デジタル化推進アクションプラン

<https://www.pref.hiroshima.lg.jp/soshiki/265/digital-actionplan.html>